



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2023 **11** 月号
Vol.153
毎月1回発行(通巻153号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号 S-GATE八丁堀9F TEL.03-3553-2906 <http://www.JMMPA.jp/>

10月15日(日)実施「医療経営士」資格認定試験の合格者を発表

355人が新たに3級試験を合格 2級受験者の累計は9500人を突破!

一般社団法人日本医療経営実践協会は11月15日(水)、第26回「医療経営士2級」および第40回「医療経営士3級」資格認定試験(ともに10月15日(日)実施)の合格者を発表した。2級試験(全国10会場)は357人が受験し109人が合格。3級試験(全国20会場)は992人が受験し355人が合格した。両試験の結果詳細を掲載する。

2級試験は前回同様 高い合格率をキープ

受験者357人のうち109人が合格、合格率は30.5%(前回35.7%)となり、過去最高の合格率となった前回には及ばなかったものの30%台をキープする結果となった。年代別で合格率を見ると

【表1】 第26回2級試験および過去試験累計 結果概要

	第26回試験	第1~26回試験累計
受験者数	357人	9,560人
合格者数	109人	2,645人
合格率	30.5%	27.7%

【表2】 第26回2級試験 年代別構成

年代	受験者数	合格者数	合格率
29歳以下	31人	12人	38.7%
30歳以上39歳以下	109人	32人	29.4%
40歳以上49歳以下	125人	38人	30.4%
50歳以上59歳以下	82人	26人	31.7%
60歳以上	10人	1人	10.0%

【表3】 第26回2級試験 勤務先別構成

勤務先	受験者数	合格者数	合格率
病医院	112人	36人	32.1%
医療関連企業	63人	24人	38.1%
医薬品製造・卸売	103人	26人	25.2%
医療機器製造・販売	16人	9人	56.3%
金融機関	31人	7人	22.6%
大学生・短大生	1人	0人	0.0%
その他	31人	7人	22.6%

【表4】 第40回3級試験および過去試験累計 結果概要

	第40回試験	第1~40回試験累計
受験者数	992人	56,330人
合格者数	355人	23,928人
合格率	35.8%	42.5%

【表5】 第40回3級試験 年代別構成

年代	受験者数	合格者数	合格率
29歳以下	257人	72人	28.0%
30歳以上39歳以下	297人	95人	32.0%
40歳以上49歳以下	259人	102人	39.4%
50歳以上59歳以下	154人	72人	46.8%
60歳以上	25人	14人	56.0%

【表6】 第40回3級試験 勤務先別構成

勤務先	受験者数	合格者数	合格率
病医院	322人	113人	35.1%
医療関連企業	219人	90人	41.1%
医薬品製造・卸売	239人	90人	37.7%
医療機器製造・販売	49人	12人	24.5%
金融機関	55人	14人	25.5%
大学生・短大生	8人	1人	12.5%
その他	100人	35人	35.0%

※2級および3級試験における勤務先別の「金融機関」は第3回(第6回)から、「医薬品製造・卸売」は第16回(第23回)から、「医療機器製造・販売」は第21回(第30回)から追加された(カッコ内は3級試験の試験回)
※勤務先別の「その他」には、弁護士、税理士等の士業、建設会社等の一般企業が該当する

3級試験は年代別に 合格率の明暗がくつきり

受験者992人のうち355人が合格、合格率は35.8%(前回38.3%)となり、第32回試験以来8回続けての30%台となった。年代別の合格率を見ると

29歳以下の方が38.7%と もっとも高い結果となった

29歳以下の方が38.7%と、受験者数・合格者数のボリュームゾーンであり、前回試験では30%後半の合格率となっていた30代40代がそれぞれ30%前後に落ち込んだことが、前回に比べ合格率が下がった要因と言えるかもしれない。勤務先別では、受験者全

年代が上がるに連れて合格 率も上昇する傾向となつて おり、最も低い29歳以下と 最も高い60歳以上とではダ ブルスコアとなる結果とな った。

年代が上がるに連れて合格率も上昇する傾向となっており、最も低い29歳以下と最も高い60歳以上とではダブルスコアとなる結果となった。勤務先別の構成では受験者数・合格者数ともに病医院勤務者が最多。ただし合格率では医療関連企業勤務者が41.1%と最も高く、唯一の40%超えとなった。次いで医薬品製造・卸売が37.7%となっている。前回合格者が出なかった大学生・短大生では、8名が受験し1名が見事合格を果たした。

医療経営士3級 資格認定試験

医療経営士 資格認定試験 日程

試験日 **2024年 2月18日**

受験エントリー期間 **2023年12月5日(火)~2024年1月5日(金)**

受験料支払締切日 **2024年1月6日(土)**

第41回「医療経営士3級」

受験料 **9,100円(税込)**
※手数料別途

受験資格 年齢、学歴、国籍等の制約はありません

試験会場 (予定) 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・金沢・広島・高松・福岡・那覇

受験エントリー
2023年12月5日(火)開始!

同僚や知り合いの方にご紹介ください

※受験エントリーにはマイページへの登録が必要になります。詳しくは協会ホームページをご確認ください
団体受験 ◇受験者10名を超える場合、団体としてまとめてお申し込みできます。◇一定の条件を満たした場合、認定会場制度をご利用できます。※審査があります

『ヘルスケア業界データブック 2023』発刊！ データと施策から読み解く 医療経営の“現在地”と“目的地”

毎年、好評を博している『ヘルスケア業界データブック』の2023年版が12月上旬に発刊される。同書は、国や地方自治体が進める施策の現状や厚生労働省や病院団体等が公表する各種統計データから、ヘルスケア業界の経営動向を俯瞰できる内容となっている。監修・編集は、(株)日本政策投資銀行・(株)日本経済研究所ヘルスケア業界研究チーム。医療・介護経営の現在地から2040年に向けた未来を展望できる。

社会環境の現状とその変化を的確につかみながら、短・中・長期の目標に向けて着実に施策を実行していくことが、医療・介護経営の要諦であると言える。

『ヘルスケア業界データブック2023』では、激変するヘルスケア業界の現状を的確につかむための国や地方自治体の施策の現状や各種統計データがテーマごとにまとめられ、医療・介護経営の現在地と目的地を俯瞰できる内容となっている。構成は、「分析編」「データ編」の2部に分けられ、「分析編」では、現在の制度や施策の現状を中心にへ



■監修・編集：(株)日本政策投資銀行 / (株)日本経済研究所
■定価：定価：3,300円(税込) ⇒ 会員価格：2,640円(税込)
■体裁A4判・並製 / 2色 / 310頁

日本医療経営実践協会の正会員の皆様には会員特典として1冊贈呈！
(協会より12月頃の発送を予定しています)

医療経営の確立をめざして
ヘルスケア業界データブック2023
数値で理解する医療・介護・関連産業の経営動向

ヘルスケア業界を概観し、「データ編」では、個別のデータを視点に医療・介護経営の現状と展望を示している。以下、具体的な内容を見ていく。

アフターコロナのヘルスケア業界の方向性を読む

「分析編」の第1章は、「ヘルスケア業界データの全体像」として、ヘルスケア業界の現在地をデータから読み取るポイントを示している。とりわけ新型コロナウイルスにより注目されることになった在宅医療と介護に焦点が当てられ、アフターコロナとアフター2025の医療・介護経営の方向性が示される。

第3章では、「介護に関する政策の動向」として、2040年に向けた介護報酬をはじめとする制度改正の方向性や地域共生社会の概念とその構築に向けた具体的な施策の状況等、介護の現在地が示される。

第4章では、「アフターコロナの病院経営」の視点から、コロナ前・中・後の総収益や総費用等の収支状況をはじめ、給与費や材料費、光熱水費等の推移を見ながら、コロナ後の病院経営を展望している。

アフター2025の医療・介護経営の方向性を読む

第2部の「データ編」は、「医療」と「介護」の2つの章で構成されている。第1章の「医療」では、施設数や患者数、職員数などの「施設動向」、総収支差額や平均在院日数、診療科別の医師の診療収入などの「経営動向」、運営費や人件費、材料費、委託費などの「運営費動向」のほか、「建設投資動向及び資金調達動向」「医師・看護師の確保」「今後の患者数推移」など、

主な内容	
第1部 分析編	
第1章	ヘルスケア業界データの全体像
第2章	医療分野を中心とした地域連携について
第3章	介護に関する政策の動向
第4章	アフターコロナの病院経営
第2部 データ編	
第1章 医療	施設動向 / 経営動向 / 運営費動向 / 建設投資動向 / 及び資金調達動向 / 医師・看護師の確保 / 今後の患者数推移 / 在宅医療の充実 ほか
第2章 介護	日本の社会保障制度と介護に関する政策 / 制度改正と介護報酬の改定 / 介護事業所の収益動向 / 介護人材の不足への対応 ほか

さまざまなデータから医療経営の現在地が示される。しかも最新の数値を積み上げた年次推移がわかるデータが多用されているため、中長期的な動向を把握することができる。

第2章の「介護」では、日本の社会保障制度の変遷を振り返りながら、あらためて介護保険制度の仕組みを踏まえ、各サービスの事業所数や利用者数、収入額・収支差率等の経営動向の推移を通じて、介護経営の現在地が示される。また、介護業界における最大の課題である人材不足に焦点が当てられ、現状とともに課題が如実に見えてくる。

* * *

団塊の世代が後期高齢者となる2025年を通過点とし、前期高齢者の人口割合が最大化する2040年に向けた医療・介護経営の指針となる一冊である。

月刊医療経営士

次代を担う
医療経営人財を
サポートする
“医療経営士応援マガジン”



特集
医師の働き方改革の現在地と将来像
時間外労働の上限規則開始
まであとわずか

12月号
好評発売中!!

2024年度から医師の時間外労働上限規制がスタートします。医師の勤務実態の把握、36協定締結や宿日直許可の申請など各病院で準備が進められてきました。来年4月まで半年を切った今、何に取り組むべきなのでしょうか。医療経営士の取り組みを交えて解説します。

詳細・ご購入は
コチラ

関東支部に新しく「多摩研究会」が発足

東京多摩地域の医療経営士をつなぐ 新たなネットワークの拠点を つくる

全国で14番目、関東支部内では5番目となる自主研究会「多摩研究会」が発足、11月24日(金)に第1回研究会を開催します。同研究会の代表幹事を務める医療法人社団永生会永生病院・みなみ野病院統括事務部長の中野雄介氏、同幹事の医療法人財団中山会八王子消化器病院用度課主任の草山潤氏、医療法人社団三秀会事務部長の小暮桂葉氏の3名にお話を伺いました。



中野雄介氏

草山潤氏

小暮桂葉氏

医療経営士という同じ立場で 活発な情報交換ができる場に

—多摩研究会発足の経緯について教えてください。

草山 もともと神奈川や東京の研究会に参加させていただくなかで、八王子という地域でも医療経営士同士で話す機会がつかれないかと考えていました。同じ地域の病院同士、事務長会や専門職同士の横のつながりはあるのですが、事務職となると他の病院との交流もなかったため、困った時に気軽に相談できる仲間がほしいなと思っていて、事務局に相談をさせていただいたのが始まりです。

中野 最初に草山さんから事務局を通してお声がけいただいたときはコロナ禍ということもあってこちらも動ける状況ではなかったのですが、コロナも落ち着いてきたなかで、改めてこちらから話をさせていただいたらそこから一気に話が進み、賛同してくださる方も増えてきて、実現したというところです。

小暮 自分の病院は西多摩にあり、南多摩・北多摩の病院とはコネクションを取りたくてもなかなかなかなか接点がないという現状がありました。そんな状況のなかで研究会の立ち上げを一緒にやらないかという話をいただいて、非常にいい機会をいただいたと思いましたし、何かお役に立つことがあればと思って協力させていただきました。

関東支部長の想いも汲みながら 医療経営士の輪を広げていく

—今後、この研究会はどのような場にしていきたいですか。

小暮 多摩地区のなかでもそれぞれの地域で異なる地域性があり、例えばコロナへの対応にしてもまったく違う形でやっていたりします。そういったお互いの取り組みを知り『こういうやり方もあるのか』という情報を得ることで、自院の選択肢を増やすことにつながります。お互いを知ることがお互いにプラスになると思いますし、そのためにも表面的な内容だけでなく、踏み込んだ話ができる場になればと思っています。

中野 会によってはどうしても立場が先行する形があるのですが、ここは医療経営士という資格を通じたフラットな関係性のなかで、日々の悩みとかも相談できるような場所になればいいなと思っています。共通の課題や同じ認識を持っているテーマでディスカッションできたり、会話できる方を増やしていく、ネットワークをしっかりとつくっていくことがまずは目的だと考えています。

草山 そもそもこの研究会をつくりたいと思ったのが、他の医療機関の同じ思いを持つ人たちと、ざっくばらんに話ができる場が欲しいということでした。困った時に気軽に相談できる仲間をこの多摩地域でつくっていき

たいと思っていますし、そういうネットワークのなかで情報交換をしながら、スタッフレベルから経営層へボトムアップできるような動きというのができればと思っています。

中野 当法人の理事長である安藤高夫が関東支部長を務めており、医療経営を考える人材をつくっていききたい、医療経営士の資格を広げていききたいということについては強い思いを持っています。今回の研究会設立についても前向きに捉えていただいていますし、安藤としても自分の法人だけでなく地域に役立てるようという想いもあるのかなと思っています。その思いにも応えていきたいと考えています。

—第1回多摩研究会には、その安藤先生が登場されます。

中野 地域包括ケアシステムのなかでどう動いていくのかが、これからの医療経営における大事なキーワードになってきます。地域のなかでどう病院を動かしていくのか、これからの病院にとって必要な役割について話していただきたいと思っています。医療経営士、医療経営という部分に関して法人トップがどう考えているのかということを知っていただくことで、今後研究会を継続していくにあたって、医療経営士にとってどのような議論が必要なのかということを考える一石にもなればとも考えています。ぜひ多くの方にご参加いただければと思っています。

日本医療経営実践協会関東支部 第1回多摩研究会

これからの地域包括ケアの形と 医療経営士に求める役割

—医療経営士としての
さらなる飛躍を目指して—

関東支部長
安藤高夫
先生が登場!



▶日時：2023年11月24日(金) 19:00～20:30
▶場所：医療法人社団永生会南多摩病院8階会議室
(東京都八王子市散田町3丁目10-1) ※現地開催のみ
▶参加費：会員 1,000円(税込) / 非会員 3,000円(税込)

▶講師：安藤高夫
医療法人社団永生会理事長 / 医療法人社団明生会理事長 / 社会福祉法人高生会理事長 / 日本医療経営実践協会関東支部長 / 前衆議院議員

事務局 掲示板

会報誌『理論と実践』投稿募集中
自分の声を会員に届けよう!

当協会が発行している会報誌『理論と実践』では、会員の皆様からの投稿を募集しています。日頃の職務における疑問や悩みから、業務改善へ向けたアイデア、病院経営や医療政策・制度に関する論文や問題提起等、内容は自由です。採用原稿については薄謝を進呈いたします。お気軽にご投稿ください。

【お問い合わせ先】

日本医療経営実践協会事務局
03-3553-2906 info@jmmpa.jp

医療経営士の所属をPRしよう!
所属先の掲載ご協力をお願いします

本協会のホームページでは、会員の皆様から掲載の同意をいただいて、医療経営士が所属する医療機関・企業名を公開しています。

医療機関の抱えるさまざまな経営課題を迅速かつ的確に解決できる能力を持った医療経営士の所属先を公開することで、経営力を持った医療機関であること、医療機関のマネジメントを支援できる人材を有する企業であることをアピールすることができます。掲載の同意をいただける方は、下記URLからご登録ください。

【ご登録はこちらから】

<http://www.jmmpa.jp/support/cat108>

PICK UP 研究会

関東支部

第5回 もっと幸せな医療研究会
組織におけるあなたのウェルビーイング

医療従事者の「幸福度」を上げ、みんながもっと幸せになれる環境をつくって、こうという想いを出発点に昨年9月に誕生した「もっと幸せな医療研究会」(代表:豊島久雄氏)。5回目となる研究会は12月12日(火)、「組織におけるあなたのウェルビーイング」をテーマに、ウェルビーイング研究の第一人者である慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授の前野隆司氏を講師に迎えて開催する。

「やってみよう」「ありがとう」「なんとかなる」「ありのままに」という4つの言葉に集約される、ウェルビーイングを高めるための心理的スキルである「幸せの4因子」を提唱する前野氏。本研究会では前野氏の講演とディスカッションを通して、この4因子を理解し、自分や他者の因子を評価する方法を学ぶほか、個人だけでなく組織や社会におけるウェルビーイングの重要性や戦略について学ぶ。

- 日時 12月12日(火) 19:00~20:30
- 講師 前野隆司氏
(慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科教授)
- 形式 オンラインと会場のハイブリッド形式
- 会場 スリーロック株式会社社会議室 (東京都渋谷区)
- 受講料 1,000円(税込)
- 定員 会場:30名(先着順) / オンライン:100名
- 主催 もっと幸せな医療研究会
- お問い合わせ先 もっと幸せな医療研究会事務局 mottoshiawasena@gmail.com



日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
11月23日(木祝)	関西	栄養経営士・介護福祉経営士・医療経営士 関西支部合同研究会 「医療・介護従事者が知っておきたい『もしものとき』を支えるACPの手引き」	西山順博氏(医療法人西山医院理事長・院長)
11月24日(金)	関東	これからの地域包括ケアの形と医療経営士に求める役割 -医療経営士としてのさらなる飛躍を目指して-	安藤高夫氏(医療法人社団永生会理事長/医療法人社団明生会理事長/ 社会福祉法人高生会理事長/日本医療経営実践協会 関東支部長/前衆議院議員)
12月9日(土)	東北	第2回 医療経営士実践研究大会東北支部大会	長英一郎氏(東日本税理士法人) ほか
12月12日(火)	関東	第5回 もっと幸せな医療研究会 組織におけるあなたのウェルビーイング	前野隆司氏(慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント 研究科 教授)
12月17日(日)	関西	栄養経営士・介護福祉経営士・医療経営士 関西支部合同研究会 「明日から現場で使える!成年後見制度実践セミナー」	東向勲氏(ひがしむき行政書士事務所代表)
12月21日(木)	関西	イチからわかる 病院経営オンライン塾 第3回「病院の内部環境分析を学ぶ」	古株靖久氏(有限責任監査法人トーマツ)

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

医療経営士募集

高度な医療を支える医療経営士募集。
大分大学病院でスキルアップしませんか?

1. 職種・募集定員

任期付常勤職員(3年)又は常勤職員…1名
※3年の任期内に希望を確認の上、面接試験等を実施し、合格した場合は無期の常勤職員へ 身分異動を行います。

2. 採用予定年月日

令和6年(2024年)4月1日
※採用日より6ヶ月間は試用期間(労働条件同一)
※採用日については相談に応じます。

3. 配属先

医学・病院事務部 経営戦略課

4. 応募資格

医療経営士の資格を有する方

5. 募集期限

令和5年(2023年)12月22日(金)
採用が決定しない場合は、募集継続します。
右記URLに掲載しておりますので確認願います。

6. 問い合わせ等

大分大学医学・病院事務部総務課人事係 宛
待遇等の詳細や応募書類等については
下記URL又はQRコードよりご確認ください。
[https://www.med.oita-u.ac.jp/
kyujin/20231010keiejimu/
20231010keiejimu.html](https://www.med.oita-u.ac.jp/kyujin/20231010keiejimu/)

